

品川支部

令和四年4月1日発行

〒 141-0022

品川区東五反田1-8-5

TEL 3442-7075

4月

天理教品川支部（豊英分教会内） 発行責任者 栗原薫 編集 支部編集部

四月は新年度 新しい気持ちで出発です

新規感染者も急激に減ってコロナの恐怖が大部軽減されてきました。

蔓延防止の制限解除でおちばでも、イベントが戻りつつあります。新年度、順調に迎えた人、そうでない人、関係ない人、様々ですが、暖かい光と新緑の芽生えの中で、二年分三年分の我慢を一気に喜びに換えて陽気ぐらしに盛り上げましょう。

品川支部も幹事役どころ一新、どうぞ宜しく願い致します



本部やかた前のしだれ桜風景

☆支部行事のお知らせ

二十九日全教一斉ひのきしんデー

品川支部は規模を縮小して開催予定
詳細は二頁掲載

・支部例会四月は二十九日のひのきしんデーで例
会は有りません(代わりの幹事会は相談項目が
あれば行いますが後日連絡いたします)

幹事会は九日で会場は
豊英分教会で、別会場で新旧交代
の会を行います。詳細は後日

神名流し

・在宅センターひのきしん

一部無理の無いところから再開されています
ので、担当者に確認して参加願います

・教区ひのきしん

担当は都南組です。

今月から再開ですが無理の無い様に願います

☆教務支庁からのお知らせ

・教区創立記念日

今回は事前に、参加申し込みをされた教会長
又は、奥様のみの参加となります

・基礎講座東京会場十日は開催予定です

・教区記念祭詳細

立教百八十五年四月四日

午前十時より祭典執行

受付は八時四十五分開始

祭典お勤めは八交代で行います

記念講演

本部准員 布教部社会福祉課長

村田 幸喜 先生

記念講演終了後弁当を配布して解
散となります

終了予定は一時半頃になります
*当日は参加登録した会長のみになりま
すが、車は支部で二台指定車のみです

・品川支部新幹事紹介

支部長 三輪元治(本大崎)

副支部長 石田寛之(水豊田)

地方委員 栗原薫(豊英)

啓発委員 斎藤衛彦(日本橋)

布教部 山中清明(三ツ木)

厚生部 岡部喜徳(日徳實)

まこと会 平林典道(鶴平)

教務部 寺田竹彦(本品川)

社友 浅田正行(神品川)

婦人会 宮坂義則(南泰)

青年会 石田ゆき(水豊田)

少年会 中澤光太(本品)

学生会 中澤光郎(本品)

災害隊 辰巳源一(櫻京)

支部会計 西海理生(都南)

栗原房枝(豊英)

四月四日の記念祭以降、新しく
担当致します

時報手配り四月予定

蔓延防止法が解除され又手
配りが再開されます。
手配りひのきしんをして頂け
る方を募集しています

拠点教会	6日号	13日号	20日号	27日号
日本橋	直送	手配り	手配り	手配り
本 荏	手配り	手配り	手配り	手配り
南 泰	手配り	手配り	手配り	手配り
三ツ木	手配り	手配り	手配り	手配り
水豊田	手配り	手配り	手配り	手配り

全教一斉ひのきしんデー

日にち 4月29日 (金曜祝日)

場所 海浜公園

時間 十時から十一時迄

時間を短縮して行います

コロナ禍中でのひのきしんなので万全を期して行いますが参加は自由です

十時 事前に個人用消毒スプレー配布
掃き掃除、ごみ拾いを主に行います
十一時半 おにぎりを配布して終了です

尚、状況により変更も予想できますので
中止の場合四月中旬までにはがきで
お知らせいたします

心次第の 陽気ぐらし



豊英分教会長
栗原 薫

先日、老化をなくす薬が開発されるといふ大変興味深い科学記事が掲載されていきました。

そうになると、教祖のおっしゃる「病まず弱らず」と言ったことが実現されるのではと、言うような思いから、一生懸命記事を読んだのですが、残念ながら判らない事が多く、専門家に解説をお願いしに行きました。

ここで私程度の理解で簡単に申し上げますとまず、臓器等の細胞では、その又中身を構成する極小の組織が古くなると細胞内の小さな袋で分解掃除のように悪いところを取り除きます。そして食べ物から取った新鮮なアミノ酸とかタンパク質とかで補充して再生工場のようにして細胞を新品にする働きをするそうです。

これが「新陳代謝」と言われる働きで本来細胞は常に新しい状態を保つことが出来ているのです。

ところが取り除いたものの排出再生工場の働きを、ある種のタンパク質が作用し阻害する事により、再生が出来なくなり、細胞は死んでしまいます。

この阻害物質が年と共に増えて新陳代謝が上手く出来なくなる事、これが「老化」という事だそうなんです。

現在では、その種のタンパク質が出来ない様に作る薬が開発され老化しない小動物を作る事が可能なんだそうです。

もっと驚きなのは、自然界では老化しない生き物は、単細胞の細菌ばかりで無く動物でも存在し、たとえばハダカデバネズミという動物はこのタンパク質が出来ないのだから老化もせず、ガンにもならないそうです。

只、老化しないと言っても死なない訳では有りません。死に至るには二通り有ります。

その一つが食物や水、気候等の生きる為の環境が十分でなかったり、強い衝撃があったり「外因」による物です。

しかしながら、永生きを授かったハダカデバネズミの映像を見ても、普通のネズミ達と比べてもちつとも楽しく生きています。ようには見えませんが。

そこで陽気ぐらしと言う面では、二つ目の死因「老化」に大きな意味があると思えるのです。老化は「自分自身で生成するタンパク質が原因」と言う事です。すから、唯一自由が許されている心の使い方次第で寿命も陽気ぐらしの道も開かれています。言う事だと思っております。

私は、昔から陽気ぐらしを願う神様が何故、苦しみや病が無い様に人間や世界を創られたのかと思っております。それも受験とか仕事で上手いかなかったり、失恋であったり大事な人に先立たれたり、子どもの問題や病に冒されたり：悩みやストレスは、かえって増えているような気がします。

その中でも人生百年の時代、百十五歳の定命に近づいていることは、これは、陽気ぐらしの種と言う事かも知れません。

例えばピンチの時、自分の心次第で周りの人を安心させる事も出来、人助けにもなります。不安を一緒に乗り越えた、言い換えれば「ほこり」を払って、心の新陳代謝が上手くいった時、陽気ぐらしの実感が湧くのだと思います。

「人助けて我身助かる」と教えられる様に、まず周りの人の助かりを願う心が初めて、「八つのほこり」「十全の守護」等の教えは、どうすれば陽気ぐらしで永い寿命を頂けるかというマニュアルを頂いていると言うことだと思っております。

私は皆さんの協力で、貴重な経験の二期六年の支部長を務めさせて頂きましたがこの四月からは新しく実直な三輪先生が支部長を務めて下さいます。

この場をお借りして支えて頂いたお礼申し上げます。同様に新支部長へのご協力も切にお願い申し上げます。